

平成16年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 ブリ

学名 *Seriola quinqueradiata*

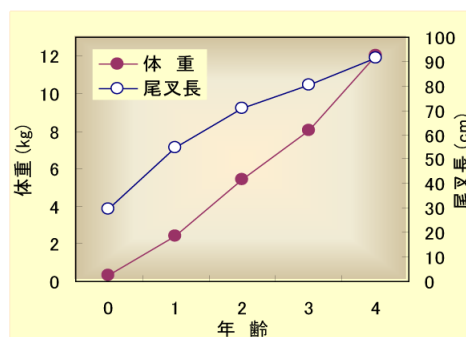
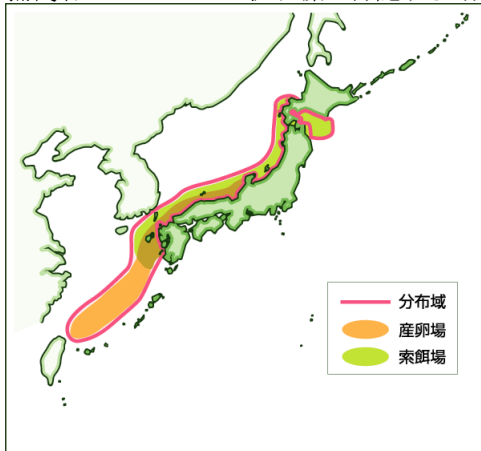
系群名 対馬暖流系群

担当水研 日本海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 7歳以上
成熟開始年齢: 2歳 (50%)、3歳 (100%)
産卵期・産卵場: 冬～初夏 (2～7月)、東シナ海の陸棚縁辺部を中心として、九州～山陰地方沿岸の海域
索餌期・索餌場: 夏～秋季、九州沿岸、日本海沿岸海域、青森県太平洋岸および北海道沿岸
食性: 仔稚魚は動物プランクトン、未成魚以降はイワシ類、アジ類、イカ類などの浮魚やオキアミ類の他、ヒイラギ、イサキ、ネンブツダイ、タイ類などの底魚も捕食
捕食者: 流れ藻に付随する時期には共食いすることがある

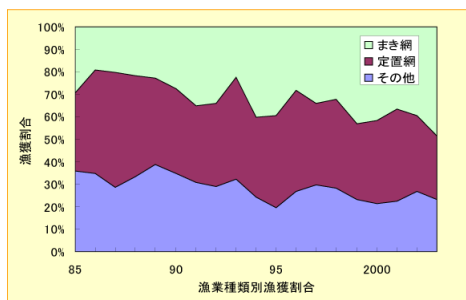
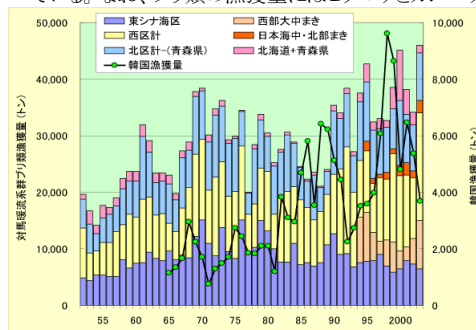


漁業の特徴

漁業の主体は定置網およびまき網で、近年19年間 (1985～2003年) の漁獲量では定置網が38%、まき網が34%を占める。その他、刺し網や釣りなどによって漁獲されているが、九州沿岸では特に釣りによる漁獲が多い。海区別にみると、日本海北區および北海道では定置網による漁獲割合が高く、62%を占める。一方、日本海西區および東シナ海ではまき網による漁獲割合が高く、日本海西區では39%、東シナ海では34%を占める。

漁獲の動向

1952年以降の漁獲量は、1954年に14千トンの最低値を記録したが、その後増加して1980年代まで20千～30千トン台を変動した。1990年代に入って漁獲量の増加がみられ、1993年の27千トンを除いて30千～40千トン台を維持している。また、2003年には漁獲量の最高値の46千トンを記録した。韓国は対馬暖流域のブリ類を、毎年数千トン漁獲している。なお、ブリ類の漁獲量にはヒラマサとカンパチも含まれているが、その大部分はブリであると考えられている。

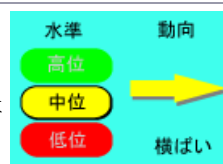


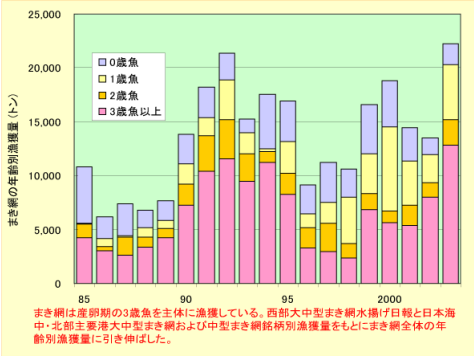
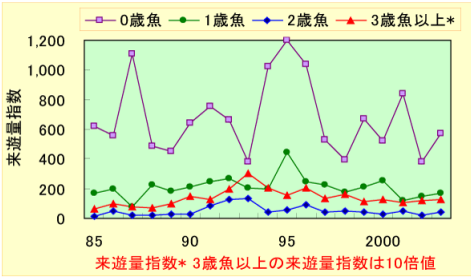
資源評価法

来遊量指数*と定置網およびまき網の銘柄別漁獲量を基にした年齢組成 (漁獲尾数と漁獲量) の推移から、資源の水準と動向を判断した。来遊量指数*の求め方: 対馬暖流域の主要定置網のうち1985～2003年の銘柄別漁獲量を0、1、2歳および3歳以上の年齢別漁獲量に分解した。次に、年齢別漁獲量を解析して各年齢の来遊量指数を求めた。なお、来遊量指数の値が高いほど対馬暖流域にある定置漁場へのブリ類の来遊状況が良いことを示す。

資源状態

0、1歳魚の来遊量指数は1985年以降変動があるものの、2003年は平均よりも若干低い状態にある。2、3歳魚以上の来遊量指数は1993年に最高となって以来減少したが、近年は安定した状態にある。2003年の定置網およびまき網の銘柄別漁獲物組成を基にした年齢別漁獲尾数および漁獲量をみると、0歳魚と2歳魚は1985年以降の19年間の中では中位にある。一方、1歳魚は低位にあり、3歳魚以上では最も高位にあった。2003年の漁獲量は1952年以降では最も多かった。しかし、沿岸性の来遊魚であるブリの来遊量指数とまき網の努力量の増大を考慮すると、全体として中位程度の資源状態と考えられる。





管理方策

来遊量指数と年齢別漁獲尾数および漁獲量から判断すると、資源水準は中位で、横ばい傾向にあると判断できる。また、近年特に定置網に於いて0歳魚を主体に漁獲しているため、成長乱獲の状態にあると考えられる。このことから、資源を増加させるためには、若齢魚の漁獲を減少させる必要がある。一方、その他に考慮すべき方策として、まき網が産卵期の3歳魚を中心に大量に漁獲していることから、再生産への影響を考慮して3歳魚の漁獲を減らすべきである。近年3カ年の漁獲量に資源を増加させることを考慮した係数0.9を乗じてABClimit、またABClimitに安全率0.8を乗じてABCtargetを算出した。

F値は各年齢の単純平均

漁獲割合＝ABC／資源重量

資源量は1月の値

	2005年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	36千トン	0.9Cave3-yr	－	－
ABCtarget	29千トン	0.8ABClimit	－	－

資源評価のまとめ

- 2003年における0、1歳魚の沿岸定置網への来遊は、平年よりも若干低い状態にある
- 2歳と3歳魚以上の沿岸定置網への来遊は1993年以降減少したが、近年は安定している

管理方策のまとめ

- 成長乱獲回避のため若齢魚の漁獲量を減少させることが必要である
- 産卵親魚量確保のため、親魚に対する漁獲圧を減ずる必要がある

資源評価は毎年更新されます。